

令和6年度 市勢振興功労者

市勢の発展に尽くした功績を表彰

本年度の市勢振興功労者に3人が選ばれました。市勢振興功労者表彰は、公共の福祉の増進と市勢の進展に尽くした功績が極めて顕著な人または団体を顕彰するもので、市の表彰では最も荣誉ある表彰です。受賞者は、学識経験者や市議会議

員などで構成する市表彰選考委員会の答申を受けて決定しました。本年度の受賞を含め、これまでに332人と26団体を表彰。表彰式は11月3日(日)、中央公民館(愛宕町)で開催します。
【問】総務課 ☎626-7513 【広報ID】1021192



小野寺 正孝 さん

Masataka Onodera

盛岡市選挙管理委員会委員長として、各種選挙の適正かつ公正な管理執行に尽力。投票所へのスロープ設置や車いすの配置を推進し、障がい者や高齢者の投票環境整備に大きく寄与。期日前投票所を大型商業施設や岩手大学に設置し、利便性向上に大きく貢献した他、市内の高校や大学での選挙啓発に取り組むなど、若年層の参政意識向上にも寄与した。
(昭和19年生まれ・盛岡駅前通在住)

選挙事務の適正な執行と参政意識の向上

選挙管理委員会は、毎月会議を開催し、選挙の管理執行について話し合いをしています。各分野から参加している委員が、それぞれの立場から気付いたことを共有することで、一般市民の皆さんの感覚と離れないよう、そして適正で公正に選挙が執行されるように委員長として運営に心を配ってきました。

選挙でミスがあると、選挙制度に対する信頼が失われてしまいます。16年に渡って活動してきた中で何事もなく進めてこられたのは、委員会だけではなく、事務局員も一体となって、選挙の前後での勉強会や課題・問題点などの反省会で繰り返し検討・研究してきたから。これが盛岡市の原点であり、良い所だと思っています。継続は力だと強く感じますね。

選挙は、市民の生活や将来にとって大切なもの。これからも皆さんの一票を大切にしてほしいです。



雫石 眞一 さん

Shinichi Shizukuishi

盛岡市消防団長として、消防団の活性化や消防防災施設の整備拡充に尽力。ドローンや救助用ゴムボートの配備など先進的な取り組みを進め、消防団員の士気向上や災害対応能力の充実強化に貢献。また、南部火消伝統保存会会長として、江戸時代から続く伝統の保存継承に努め、本市の友好都市である台湾花蓮市との友好関係構築にも大きく寄与した。
(昭和25年生まれ・大通三丁目在住)

安全安心なまちづくりと伝統の継承

最初はおこがれて入った消防団。活動を通して、火事や災害の恐ろしさに触れ、消火活動や予防活動の大切さを身をもって感じました。親がよく口にしていた「自分の生まれ育った所に報恩を」という言葉のもと、「自分たちの地域は自分たちで守る」を使命として活動を継続してきました。腹を割って話せる信頼できる仲間ができたのが、活動を通して得た宝。団員の時も、団長になってからも周りの人に恵まれたと本当に感謝しています。

平成14年に初めて盛岡山車が台湾花蓮市を訪問しましたが、今では友好都市に発展して交流が続いているということがとてもうれしいです。

地域の活動やお祭りに参加することは、自分たちのまちを知ることにつながります。安心して住みよい街にするために、若い世代の人たちにも伝え、継承していってほしいですね。



谷藤 裕明 さん

Hiroaki Tanifuji

盛岡市長に5期20年在職。「市民本位の市民起点によるまちづくり」を政治理念に掲げ、市政の発展と住民福祉の増進に貢献。就任当初から行財政構造改革を進め、安定的な行財政基盤を確立した。また、玉山村との合併実現や中核市移行により、東北の拠点都市づくりを進め、盛岡広域圏の発展と地域振興に貢献した他、移住定住促進や交流人口拡大などの取り組みを進め、持続可能な都市の実現に尽力した。
(昭和25年生まれ・梨木町在住)

盛岡を世界につながるまちへ

盛岡を、岩手を元気にしたいという気持ちで地方自治の世界に飛び込みました。市長に就任してからは、常に、どうしたら持続可能なまちであり続けられるかを念頭に、市の財政再建や合併、中核市移行などを進めました。また、盛岡だけでなく広域と連携して地域の魅力を引き出すことはとても大切なこと。県都盛岡としての役割を果たせるように取り組みました。

任期の中では、東日本大震災やコロナ禍など、市民生活にも大きな影響を与える出来事がありましたが、振り返ると、リーダーとしてどんな時でも、常に前を向いて進むことを心掛けてきました。

ニューヨーク・タイムズ紙に選ばれた盛岡の魅力は、日常の暮らしの中で市民の皆さんと一緒に守ってきたもの。これからも大切にしながら、人々が集うまちであってほしいです。

今月号の
「もりけんに挑戦」は
お休みしました

広報もりおかへのご意見をお待ちしています
アンケート専用フォームから、特集や各記事への意見をお寄せください。あなたの意見が広報もりおかを育てます。



編集後記

普段何げなく見ている橋も、歴史などを知るとなんだか愛着が湧きますね。橋から眺める風景は、私の大好きな盛岡の景色の一つです。(澤口)

地球環境に配慮したインキを使用しています。